資料２

令和４年度

生涯学習センター事業報告

令和５年２月末現在

藤井寺市教育委員会事務局教育部生涯学習課

令和４年度生涯学習センター事業報告

生涯学習センターは、市民に身近な施設として、学習の機会を提供し、幅広い世代が、学び・集い・憩える生涯学習活動の拠点として、下記事業の展開と管理運営に取り組みました。また令和４年度より観光の振興、にぎわいの創出を目的として１階入り口横に、観光課の執務場所が新たに設けられた。

なお、令和４年１１月以降は、コロナ禍以降実施していた生涯学習センターの貸館利用における定員制限を解除することとした。

（１）子どもたちと地域の人が触れ合う機会の拡充

・二十歳の集い（旧成人式）

民法改正により成年年齢が 18 歳に引き下げられましたが、本市の成人式は、名称を「二十歳の集い」に変更し、20 歳を対象（平成 14 年 4 月 2 日から平成 15 年 4 月 1 日までに生まれた方）に、式典やその後の催しを、二十歳の若者自身による実行委員会形式で、令和 5 年 1 月 9 日（月・祝）に市民総合会館において実施した。

	Ｒ２年度	Ｒ３年度	**Ｒ４年度**
対象者数	７１６	６８４	**６３４**
出席者数	４９６	５００	**４１９**
出席率（%）	６９．３	７３．１	**６６．０**

二十歳の集い実行委員数・・・１２名

実行委員会開催日・・・前日リハーサルを含め計４回実施

式典の出席率については、減少傾向となった。

各部課からも多数の応援をいただき、大きな混乱もなく無事に式典を実施できました。また、コロナ禍以降なるべく時間を短縮して式典をおこなってきたが、今年度は通常の式典後に抽選会を実施する等新たな取り組みもおこなった。

抽選会では、市と包括協定を結んでいる企業（第一生命保険株式会社、コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社）からも景品の協力をいただき、出席者に

対して、市との連携についても周知をおこなった。
　また、コロナ禍以降の式典での取り組みとして、ライブ配信の実施や、藤井寺市役所への撮影用看板の設置や藤井寺イオンショッピングセンターとの連携等については、引き続き実施をした。
　今後も、コロナ禍以降でよかった取り組みを活かしつつ二十歳の実行委員の意見を反映した式典を実施したいと考えている。

（２）自主学習グループへの活動支援

①自主学習グループについて
　市民の生涯学習活動の拠点施設としての役割を果たしていくため、登録グループのニーズに応じた諸室の貸し出しを行った。
　令和４年１１月以降は、コロナ禍以降実施していた貸館の定員制限をなくした。
　ここでの活動を楽しみにされていた合唱など利用を自粛されていた一部のグループも再度利用登録されるケースも見受けられた。
　今後も、マスクの着用等基本的な感染対策を継続しつつ、安全で安心して施設を利用していただけるようにしたいと考えている。

	Ｒ２年度	Ｒ３年度	**Ｒ４年度**
グループ数	58	57	**６２**

　新たな仲間を求めている自主学習グループにあっては、その支援のために、館内の掲示板「グループのひろば」を積極的に活用されるよう周知するとともに、窓口での学習相談に来館された市民の方々に自主学習グループのことを紹介できるシステムをとっている。
　また、自主学習グループのさらなる活性化に向けて、活動グループの一覧のチラシの作成をおこない希望者に配布するとともに、市広報誌や市 HP への掲載する等周知を心掛けた。
　実際、従来活動のことを知らなかった方からの連絡があり活動グループへつなぐケース等もあり、一定の効果があったと考えている。

②１階展示コーナーについて
　自主学習グループや市民の方が、その学習の成果を広く市民にアピールするために展示コーナーを設置している。年々、定期的に展示されるグループ等も増えてきている。一昨年より新型コロナウイルス感染拡大のため、使用団体数

が減少傾向だったが、令和４年度では、徐々に使用団体が増加し、団体の活動に対する機運の回復傾向が見受けられた。

使用団体数・・・延べ１９団体(予定含む)　(昨年度１４団体)

（３）地域コミュニティー活動

せせらぎ、噴水の実施

本年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の状況に鑑み土日祝のみの実施となった。

（４）その他

①主な施設修繕について

・生涯学習センター１F 男子トイレ、女子トイレウォシュレットの設置工事を行った。

②主な備品購入

従来からあった 150 インチスクリーンを更新し、二十歳の集いの会場での文字通訳の表示に活用した。今後も大きい会場等でのイベントや講座での活用を見込んでいる。